

小児看護学概論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

現代社会における子どもとその家族の健康上の問題や小児看護の特性を学ぶ。主な内容として、小児看護の概念、小児保健の動向、小児看護の変遷と課題、小児看護の機能と役割、成長・発達の指標と評価および小児の各成長・発達段階（新生児・乳児期、幼児期、学童期、思春期）に応じた看護を学ぶ。また、子どもの権利の視点に立ち、小児のインフォームド・コンセントおよびインフォームド・アセントについて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

小児看護の理念と看護師の役割について理解を深めることができる。また、現代の子どもと家族を取り巻く諸問題の実態や背景を踏まえながら、子どもの成長・発達過程を理解し、各成長・発達時期の健康問題および発達課題に対応する看護について理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

・到達目標（SBO）

1. 小児看護学の対象および求められる役割を理解し、これまでの小児看護のあり方から今後の課題について述べるができる
2. 現代社会に生きる子どもとその家族の生活や健康に関する問題について理解を深めることができる
3. 子どもの権利について理解を深め、一人ひとりの子どもの意志、家族の意志を尊重する看護について理解を深めることができる
4. 新生児・乳児期の成長・発達過程を理解し、必要な看護について理解できる
5. 幼児期にある子どもの成長と発達の特徴を理解し、また幼児期の子どもの健康問題と必要な看護について理解できる
6. 学童期にある子どもの成長と発達について、身体的・心理的・社会的側面における特徴を理解し、また学童期の子どもの健康問題と必要な看護について理解できる
7. 思春期の特徴と問題を理解し、小児から成人への移行期を援助するために必要な知識と援助方法を理解できる

・ 授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/29	火	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	小児看護学の導入、小児看護の理念と対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児看護学の対象および求められる役割を理解できる ・ 小児看護のあり方から今後の課題について述べるができる
5/30	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	子どもの権利 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの権利について理解を深めことができる ・ 子どもの意志、家族の意志を尊重する看護について理解を深めることができる
6/6	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	小児と家族を取り巻く環境と健康問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとその家族の生活や健康に関する問題について理解を深めることができる
6/13	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	新生児および乳児の成長・発達の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児・乳児の発達の特性と課題がわかる ・ 新生児・乳児期の形態および機能的側面の発達の特徴がわかる
6/20	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	幼児の成長・発達の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の発達の特徴と課題がわかる ・ 幼児期の形態・機能的側面の発達の特徴がわかる ・ 幼児の基本的な生活習慣の獲得に向けた援助方法を理解することができる

6/27	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>学童期の成長・発達の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童期の形態・機能的側面の発達の特徴がわかる ・学童期の心理・社会的側面発達の特徴がわかる
7/4	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>思春期の成長・発達の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における形態的・生理的側面の発達の特徴がわかる ・思春期における心理的・社会的側面の発達の特徴がわかる ・思春期の子どもたちの生活の特徴と問題について述べるができる ・現代の思春期の子どもたちの心理社会的な問題について述べるができる
7/11	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>成長・発達の指標と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達に伴う健康上の問題について述べるができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NiCE 小児看護学概論 改訂第3版 ～子どもと家族に寄り添う援助～	二宮啓子 今野美紀	南江堂	2017

・成績評価方法

定期試験 100%により評価する。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと。全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題を課す場合は、コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門分野Ⅱ 小児看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影